

送 辞

小名浜の海に柔らかな日差しが煌めき、校舎の木々の芽吹きに春の兆しを感じ始める今日の佳き日に、小名浜第二中学校を巣立たれる103名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

桜が咲き誇る中、皆さんが真新しい制服に身を包み、小名浜第二中学校の門をくぐられてから、早3年の歳月が経とうとしています。今、皆さんは、小名浜二中生として過ごしてきた、大切なかけがえのない日々を、昨日のこのように振り返っていらっしゃるのではないのでしょうか。

2年前、入学したばかりで緊張していた私たちに、優しく声をかけてくださったのは、先輩方でした。学校行事や部活動など、何もかもが初めてで不安で胸がいっぱいでしたが、先輩方のおかげで、どんな時も安心して学校生活を送ることができました。

皆さんの姿を振り返り、真っ先に浮かんでくるのは潮音祭での合唱の様子です。体育館に響き渡る、心地よいハーモニー。聴いている人の心をぐっと掴むような歌声は、私たちにとって大きな衝撃でした。その歌声には、「ひとつの目標に向かって皆で取り組み、大きな絆が生まれる」という私たちへのメッセージが込められているように感じました。

先輩方はいつも私たちの先頭に立って導いてくださいました。生徒会や委員会活動では、一人ひとりが仕事に責任をもちながら、小名浜二中をより良くしていくために、熱心に活動に励むことの素晴らしさを教えてくださいました。考えがぶつかったり、困難へと立ち向かわなければならなかったりするときも、考え方の違いを認め合い、ともに立ち向かうことの大切さを強く学びました。

私たちの憧れであり、とても大きな存在である先輩方と過ごすことのできる時間も、今日が最後です。先輩方がこの学校を卒業されると思うと本当に心細くなります。今まで私たちはそんな先輩方に甘え、その背中を追い続けるばかりでした。しかし、これからは私たちが先輩方のように、小名浜二中の伝統を引き継ぎ、後輩たちを引っ張っていけるようにならなければなりません。もちろん今は不安で仕方ありませんが、先輩方の姿を胸に刻んで、小名浜二中をさらに活気に満ち溢れた学校にしていくために努力して参ります。

卒業生の皆様、中学校で過ごした数々の思い出を、どうか忘れないでください。これから皆様はそれぞれ違った道を歩み、新たな目標に向かって進み続けていかれることと思います。時には思い通りにいかなかないような時もあるでしょう。そんな時は、小名浜二中で学んできたことや、先輩方や仲間たちと共に培った経験を生かし、必ず乗り越えられると信じています。これから新たな道に向かって羽ばたいていかれる皆さんの前途に、輝かしい未来が待っていることを願っております。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞といたします。

令和6年3月13日 在校生代表